

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.3
Q1 室内環境			0.40					3.5
1 音環境		3.0	0.15	3.0	1.00			3.0
1.1 騒音		3.0	0.50	3.0	0.50			
1 室内騒音レベル		3.0	1.00	3.0	0.50			
2 設備騒音対策		-	-	3.0	0.50			
1.2 遮音		3.0	0.50	3.0	0.50			
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30			
2 界壁遮音性能		3.0	-	3.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20			
1.3 吸音		1.0	-	1.0	-			
2 温熱環境		3.0	0.35	3.0	1.00			3.0
2.1 室温制御		3.0	1.00	3.0	1.00			
1 室温		-	-	-	-			
2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-			
3 外皮性能		3.0	1.00	3.0	1.00			
4 ゾーン別制御性		3.0	-	-	-			
5 温度・湿度制御		-	-	-	-			
6 個別制御		-	-	-	-			
7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-			
8 監視システム		-	-	-	-			
2.2 湿度制御		-	-	-	-			
2.3 空調方式		-	-	-	-			
3 光・視環境		3.0	0.25	4.0	1.00			3.8
3.1 昼光利用		4.2	0.30	4.0	0.50			
1 昼光率	昼光率2.5%以上	5.0	0.60	5.0	0.50			
2 方位別開口		-	-	3.0	0.30			
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20			
3.2 グレア対策		2.0	0.30	4.0	0.50			
1 照明器具のグレア		-	-	-	-			
2 昼光制御	バルコニーの底とレースカーテン併用	2.0	1.00	4.0	1.00			
3 映り込み対策		-	-	-	-			
3.3 照度		3.0	0.15	-	-			
3.4 照明制御		3.0	0.25	-	-			
4 空気質環境		4.2	0.25	4.3	1.00			4.3
4.1 発生源対策		5.0	0.60	5.0	0.63			
1 化学汚染物質	すべてF VOCも放散量の少ない材料を使用	5.0	1.00	5.0	1.00			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
3 ダニ・カビ等		-	-	-	-			
4 レジオネラ対策		-	-	-	-			
4.2 換気		3.0	0.40	3.3	0.38			
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33			
2 自然換気性能	1DKタイプバルコニー窓、食事室+就寝室 床面積の1/8以上開閉可能	3.0	-	4.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33			
4 給気計画		-	-	-	-			
4.3 運用管理		-	-	-	-			
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-			
2 喫煙の制御		3.0	-	-	-			
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			2.7
1 機能性		3.7	0.40	2.6	1.00			2.7
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	2.0	0.60			
1 広さ・収納性		3.0	-	3.0	-			
2 高度情報通信設備対応		3.0	-	2.0	1.00			
3 バリアフリー計画	バリアフリー法の基準を満たしている	4.0	1.00	-	-			
1.2 心理性・快適性		4.0	0.30	3.5	0.40			
1 広さ感・景観		3.0	-	3.0	0.50			
2 リフレッシュスペース		3.0	-	-	-			
3 内装計画	住宅における清潔さ、利便性、機能性を考慮している	4.0	1.00	4.0	0.50			
1.3 維持管理		3.0	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
2 耐用性・信頼性		3.0	0.31	-	-			3.0
2.1 耐震・免震		3.0	0.48	-	-			
1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.1	0.33	-	-			
1 躯体材料の耐用年数	劣化等級3	5.0	0.23	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		1.0	0.23	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		1.0	0.09	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	排水管、給水管:硬質塩ビライニング鋼管 Eは不使用	5.0	0.15	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	-	-			

2.4	信頼性		3.0	0.19	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
3	対応性・更新性		3.6	0.29	2.3	1.00	2.5
3.1	空間のゆとり		-	-	1.6	0.50	
1	階高のゆとり		3.0	-	2.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ		3.0	-	1.0	0.40	
3.2	荷重のゆとり		3.0	-	3.0	0.50	
3.3	設備の更新性		3.6	1.00	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性	構造材の損傷なく修繕、更新が可能	4.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性	構造材、仕上げ材の損傷なく修繕、更新が可能	5.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性	構造材、仕上げ材の損傷なく修繕、更新が可能	5.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q3	室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	3.7
1	生物環境の保全と創出	緑地を十分に確保し小鳥等が集まりやすいようにする	4.0	0.30	-	-	4.0
2	まちなみ・景観への配慮	周辺の建物と同等の高さとし調和を図る	4.0	0.40	-	-	4.0
3	地域性・アメニティへの配慮		3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR	建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.7
LR1	エネルギー		-	0.40	-	-	3.8
1	建物の熱負荷抑制		3.0	0.40	-	-	3.0
2	自然エネルギー利用		3.5	0.20	-	-	3.5
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用	太陽光発電設備:11kw	4.0	0.50	-	-	
3	設備システムの高効率化	給湯:エコジョーズ採用、照明:LED照明採用	4.8	0.40	-	-	4.8
	集合住宅以外の評価(ERRによる評価)	#VALUE!	5.0	-	-	-	
	集合住宅の評価		4.8	-	-	-	
4	効率的運用		-	-	-	-	-
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2	資源・マテリアル		-	0.30	-	-	3.9
1	水資源保護		3.0	0.15	-	-	3.0
1.1	節水		3.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	-	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減		3.8	0.63	-	-	3.8
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.07	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	型枠:間伐材、As舗装:再生As、舗装ブロック:再生材利用ブロック	5.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.05	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	更新の際に容易に分別可能	5.0	0.24	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避		5.0	0.22	-	-	5.0
3.1	有害物質を含まない材料の使用	化管法における対象物質を含有しない建材種別6種類有	5.0	0.32	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避		5.0	0.68	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	CDP=0 GWP=3	5.0	1.00	-	-	
3	冷媒		-	-	-	-	
LR3	敷地外環境		-	0.30	-	-	3.5
1	地球温暖化への配慮		4.5	0.33	-	-	4.5
2	地域環境への配慮		3.0	0.33	-	-	3.0
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	周辺環境への配慮		3.2	0.33	-	-	3.2
3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.33	-	-	
2	振動		3.0	0.33	-	-	
3	悪臭		3.0	0.33	-	-	
3.2	風害・砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3	光害の抑制		4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策ガイドラインの基準を50%以上満たし、広告物等はない	5.0	0.70	-	-	
2	曇光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	